

令和4～5年度遠山郷ジオガイド養成講座報告

「遠山ガイドの会」は現在7人で構成され、遠山郷地域（飯田市上村・南信濃）の案内を行っています。今回は、主にジオの観点で、もっと遠山のジオを知りたい、もっと魅力あるジオガイドを行いたいという思いから、遠山郷やその隣接地域の様々な場所を訪れ、そこに詳しい人々の助けを借りながら、12回にわたるジオガイドの養成講座を開催しました。その報告をします。

講座No	日時	視察場所	内容
第1講	R4年 12/16(金) 13:00～	程野露頭→ 中郷流宮岩 →祭伝承館 天伯→秋葉 街道(上町)	<p>遠山郷ジオガイド養成講座の第1講は、程野露頭から始まりました。程野露頭で右横ずれ運動をする中央構造線を確認し、中郷にて、石灰岩とチャートが縞々になった地層が織り込まれている幅7m、高さ3mの巨岩「中郷流宮岩（なかごうながれみやのいわ）」を見ました。この層は、2億年前に放散虫などの死骸が堆積したものとされています。</p> <p>その後、上村自治振興センターに隣接している、「祭伝承館天伯」を見学しました。当地域を貫く中央構造線のパノラマや御池山隕石クレーターがわかりやすく展示されています。また、この施設には、この地域に古くから伝わる国の指定重要文化財「霜月祭り」の湯立神楽が行われる場所のようすなどが再現されています。</p>
第2講	R4年 12/23(金) 13:00～	梨本停車場 →木沢小学 校→秋葉街 道(木沢) →合戸峠→ 押出	<p>ジオガイド養成講座第2講が開催されました。今回は木沢を中心とした地域を回りました。</p> <p>森林鉄道や木沢小学校、秋葉街道について、木沢小学校の前沢さんから詳しい説明を受け質問も活発に出され丁寧なお答えをいただきました。</p> <p>木沢八幡社は禰宜を務める仲山さんが講師になり説明してくれました。</p> <p>木沢露頭見学は残念ながら雨降りのため中止になりましたが、地図や地質図を見ながら研修を深め地形や霜月祭りへの影響などの理解を深めました。</p> <p>秋葉街道についても地形と遺跡両面から見て回り、合わせて中央構造線との関連も考えて見ました。</p> <p>観光や歴史だけでなく地球のダイナミックな活動が作り出した地形や地質を合わせて学ぶことで、より深い理解が図られることを学んだ一日になりました。</p>



祭伝承館天伯



木沢小学校



木沢八幡社

令和4～5年度遠山郷ジオガイド養成講座報告

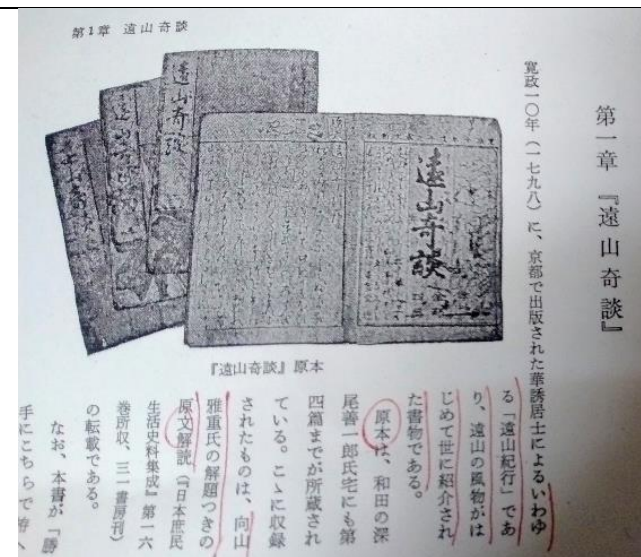
講座 No	日時	視察場所	内容	内容
第3講	R5年 1/13(金) 13:00～	新町→本町 →夜川瀬→ 山原→尾野 島	<p>ジオガイド養成講座第3講が開催されました。3月下旬を思わせる暖かい天気の中、和田界隈を歩き廻りました。水口という地籍にある岩屋、愛宕神社にあるいぼ取り石や庚申碑、ヨキノハナ、出山のミシャクジなど普段では知ることができない所を見て歩きました。</p> <p>その後梶谷の「三条神社」やセギ跡※も訪ねて古い時代の秋葉街道や川狩りの様子を確認しました。</p> <p>和田を一廻りするのに2時間30分、約8000歩でした。</p> <p>※セギとは、河川による木材運搬をしていた当時の、木材の集積・搬出場所のことです。</p>	 <p>セギ跡</p>
第4講	R5年 1/27(金) 13:00～	エコ・ジオ パークとジ オガイドの 活動・危機 管理	<p>第4講は「エコ・ジオパークとガイドの活動、危機管理について」です。そもそもエコパークとはなにか？ジオパークとは何か？・・・そしてどう違うのか？についてその生い立ちから現在までの歴史やジオストーリーに基づく内容の理解やガイドの果たす役割などについて学術部会長の坂本先生から詳しく話を聞きました。またガイドの危機管理として何よりもお客様の安全を第一に取り組むために知っておくべきことについても学びました。</p> <p>今回はその後の質問と討論が大変熱を帯びたものになりました。日頃の活動の中で感じている疑問などが次々と出され、中には高度な内容のものもあり、ガイドの皆さんの真剣な度合いが高く充実したものでした。</p>	

令和4～5年度遠山郷ジオガイド養成講座報告

講座 No	日時	視察場所	内容
第5講	R5年 2/17(金) 13:00～	梁の木島番所→青崩峠→此田→島古	<p>第5講は八重河内方面です。  「梁の木島番所」という江戸時代の番所や「三遠南信自動車道」の工事状況、此田の水抜き井戸などを見て廻りました。  「三遠南信観音」のある稲荷山公園ではこの地域を一望でき、入り組んだ地形と活断層との関係など説明に聞き入りまた意見を交換し合いました。「三寒四温」の暖かい日差しの中で春近しを感じながらの一日でした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>三遠南信観音（稲荷山公園）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>青崩峠工事現場</p> </div> </div>

講座No 日時 内容

第6講 R5年3/17(金)13:00～ 場所 遠山郷土館 模擬ガイド、ジオガイド養成講座修了式  
 遠山郷ジオガイド養成講座の第6講と修了式が行われ、3人の新しい仲間が誕生しました。  
 先日の観光・ガイド合同部会の会議で加盟団体が独自に養成できるようにすることが話し合われており、次の幹事会で承認されれば認定ジオガイドとなります。実力は十分な皆さんですので今後の活躍が期待されます。交流会では「遠山綺談」を地域起こしの柱にすえることや観光のツアーを増やし旺盛に取り組むことなどが観光協会の近藤会長や大蔵さんなどを交えて話し合われ確認されました。  
 今「遠山綺談」で盛り上がっています。坂本正夫先生から「私は最初の赴任校が木沢小学校だったがその時からこれを使って地域興しをやってみたいらと言いつけている」の話があり、参加していた大蔵喜福さんも「遠山という所を誰にもわかりやすく説明できるいい教材であり、ぜひ活用して取り組もう」と呼びかけられました。  
 遠山郷ガイドの会事務局の方からも、「実は私も3年間郷土館に勤めて色々なものを調べてみたが、地域興しの柱にはこれを使うのが一番いい…というか、これしかないと思って来年度の事業計画に盛り込んでもらって7月に学習講演会をやり、公民館や観光協会、まちづくり委員会などにも呼びかけて一大プロジェクトにしようとしていた」という紹介がありました。  
 柳田国男先生の辛口の書評はありますが、話題性や意外性ばかりでなく資料価値においても高いものがある、と考える関係者もおおり、今後、地元で取り上げられ、盛り上げていただくことが期待されます。



遠山奇談



遠山城(遠山郷土館)と桜



ガイド養成講座修了式

講座 No	日時	場所	内容
補講①	R5 年 3/10 (金) 13:00~	下栗	<p>修了式は先日終わりましたが、補講兼スキルアップ講座の第1回目として、下栗の里案内人の会との交流会が行われました。</p> <p>「下栗の里案内人の会」に御案内いただき、普段は廻ることのない「日本のチロル」と言われる下栗の集落内を見学しました。</p> <p>下栗において、とにかく水は貴重で3箇所しかない井戸を見て回り、水を運ぶ苦勞を聞きました。</p> <p>途中に聖岳と溪谷を望む絶景のポイントがありその迫力に魅了され、またハザヤライなど古いものが残っているのにも感動。板葺きに石を載せた屋根が再現された小屋も風情があります。ここはとにかく急傾斜です。</p> <p>後半の交流会ではジオガイド側からの観点での説明もあり、色々な情報を交換し合い有意義な「交流会」になりました。ここは標高は高いのに日当たりがよく暖かい日射しが気持ちよかったです。</p>



下栗の里

令和 4~5 年度遠山郷ジオガイド養成講座報告

講座 No	日時	内容
補講②	R5 年 3/24 (金) 8:00~	<p>補講兼スキルアップ講座の2回目は、遠山郷のジオガイドをするためにも他のサイトを知って置くこと必要…という思いで、大鹿村と伊那市長谷を訪ねました。</p> <p>中央構造線博物館では講師の坂本先生から「ガイドをやってみたら」と言われ2人が挑戦しました。何の準備も資料もない中で御自身の記憶をたどりながらの説明をしていただきましたが、最初の庭園でのガイドはよくまとまった内容のお話をしていただけました。館内に入ると沢山の展示や資料でどこに焦点を絞るかに苦慮するところでしたが、後ほど講師の坂本先生の解説を聞いてなるほど、と勉強になりました。今回無茶振りに挑戦した方は、次に同様の説明をするときは自分のペースで自信を持って説明できるようになると確信できる内容でした。</p> <p>坂本先生からは北川露頭と分杭峠の御案内もしていただき、ジオパークガイドの会森川会長からは整備された「溝口路頭」の特異な成り立ちについての説明を受け、「南アルプスジオパークの全体像」がイメージできる、今後の活動に役立つ内容になりました。</p> <p>長谷のビジターセンターでは、伊那ジオガイド会との交流会を行いました。詳しい説明を聞いて、「ガイド会があること自体が素晴らしい」(大蔵さん)と実感する声もありました。ガイド会の今後のあり方について SNS の活用や地元団体への働きかけなど様々な意見や提案も出され有意義な交流ができました。</p>



大鹿村中央構造



大鹿村北川露頭



長谷ビジターセンターでの伊那ジオガイド会との交流会

令和 4～5 年度遠山郷ジオガイド養成講座報告

講座 No	日時	視察場所	内容
補講③	R5 年 4/7 (金) 9:00～	青崩れ峠→ 水窪→ホウ ジ峠	<p>補講兼スキルアップ講座③が行われました。南部の「青崩峠（飯田市南信濃八重河内と浜松市天竜区の境）」、「ホウジ峠（浜松市天竜区）」及び「二本杉峠（浜松市天竜区）」を訪ねました。よく晴れて夏を思わせるような暑さでしたが 1000m を越す峠は新芽が出始め快適そのものでした。</p> <p>「青崩峠」は飯田市側が通行止めのため水窪町から登りましたが、道はよく整備されていました。「中央構造線は今まで思っていた所よりかなり南側のの上にあることを知った。説明を聞かないと分からないと実感した。」といった声もありました。ニッケル鉱山跡や青崩神社についても詳しい説明を受けました。講師は学術部会長の坂本先生（地質）と地元の研究家山崎さん（歴史）のお2人で、総合的に理解を深めることができました。</p> <p>「ホウジ峠」に立つと「中央構造線」が曲がっていることがよく分かります。「二本杉峠」は歴史を感じさせる場所でした。遠山郷を北部や南部両方から捉えることで「中央構造線」の深い理解が得られることができることがよく分かった研修でした。</p>



青崩峠



ホウジ峠



二本杉峠

令和4～5年度遠山郷ジオガイド養成講座報告

講座No	日時	視察場所	内容
補講④	R5年 4/21(金) 13:00～	下栗、御池 しらびそ高 原天の川 →しらびそ 峠	補講兼スキルアップ講座④として、しらびそ方面の研修ツアーを行いました。最高気温28℃という夏のような暑さでしたが1000～1900mの高地は快適でした。今回はHPに載せるリール動画の撮影も合わせて行いました。南アルプスの残雪と新緑がとても心地よく熱心に練習と研修を繰り返しました。南ビューポイントの良さを実感し、下栗の里の説明ポイントを確認し、御池隕石クレーター跡では発見者の坂本先生の援助もいただきながら中級者もガイドできる力をつけるための勉強をしました。南アルプスを一望できる「しらびそ峠」では迫力ある景色に感動しつつ、どう伝えるかで相互研修も盛り上がりました。今回は知識だけでなくどう伝えるかについても突っ込んだ実践的な内容だったことが特徴的でした。



しらびそ峠



下栗の里



しらびそホテル天の川店内展示



令和4~5年度遠山郷ジオガイド養成講座報告

講座No	日時	視察場所	内容	
補講⑤	R5年5/12(金)9:00~	下栗仏像構造線→北又渡→便りが島	<p>補講兼スキルアップ講座⑤が行われ、下中根の変動渓谷から聖光小屋までのルートを通山さんの講師と坂本先生の解説で廻りました。</p> <p>新しいルートを開拓するにふさわしい内容が詰まったコースです。秋の紅葉の季節にツアーをつくりたいという通山さんの希望を実現させたいと思いました。前ガ岩から見た景色や屋敷から見た南アルプスなどその美しさに惹きつけられるとともに生活や歴史との関わりも含めて理解すると魅力が引き立つようです。</p> <p>中根のビューポイント、前ガ岩のビューポイントと屋敷から見た南アルプスはこのルートの前半を飾る素晴らしい景色です。</p> <p>北又渡発電所は説明を聞くと全体像と落差の威力がよくわかりました。矢筈崩れに伴う埋没林は水を吹き出す樹やその年代など新しい情報がありました。急勾配の坂を登るためのループ状軌道の跡が2箇所あり、苦勞の跡がしのばれました。</p> <p>昼食は通山さんの経営する「聖光小屋」に入れて貰いました。昨年浄水装置かできて安心して水が使えるようになったそうです。帰りに枕状溶岩をみました。海底火山の作り出したものがこの高山にある…ジオの面白みを満喫した一日でした。</p>	
				
		前ガ岩から見た景色	屋敷	
				
		遠山川矢筈崩れに伴う埋没林	中電北又渡発電所集水路図	旧森林鉄道路線図

講座 No	日時	視察場所	内容
補講⑥	R5 年 6/7 9:00~	遠山郷の中央構造線を巡るツアー	補講兼スキルアップ講座⑥が開催されました。中央構造線が遠山郷内のどこを通っているかを講師の坂本正夫先生の解説で見て廻りましたが、長年の調査のエッセンスを一日で廻るもったいない位内容の濃いものでした。こうした深い理解がガイド力の向上に結びつくことが良く分かります。15 時からの「遠山奇談で地域起こしを進める会」の取り組みも熱のこもった意見が相次ぎました。改めてこの内容が現代的に蘇ることが地域起こしに大きくつながっていくことがわかり、7 月末に予定されている遠山郷土館の学習講座（講師、桜井弘人さん）を成功させ、各団体でも色々な経験や企画を発展させていくことを申しあわせました。半年にわたる、ロングランのガイド養成講座が終了しましたが、まだまだ知るべきことは尽きません。これからも、どんどん経験を積み重ね、知識を吸収していきたいと思います。
	<p>程野露頭の奥のようす</p>	 <p>木沢松ん田ビューポイントから 3 つの構造線の説明を聞く</p>	
			 <p>遠山奇談の一部（市美術博物館提供）</p>
<p>「遠山奇談」の活用策を検討（南信濃自治振興センター）</p>			<p>南信州新聞に取り上げられた「遠山奇談で地域おこし」の記事</p>